

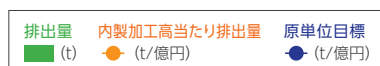


循環型社会の構築

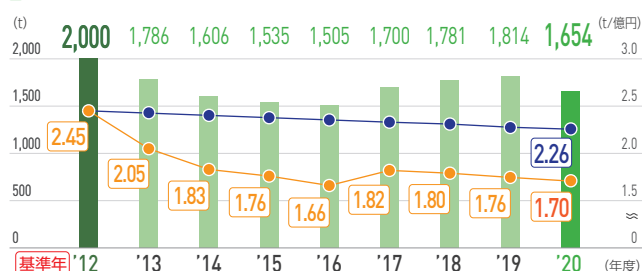
東海理化グループでは、限りある資源を有効に使用していくため、製品の生産に使用する樹脂や金属など、さまざまな資源の循環利用を進めています。また、生産活動では、水の使用が不可欠であるため、使用量の低減や水質管理の徹底により放流先への影響低減に取り組んでいます。

生産活動における廃棄物の低減

製品の歩留まり改善や不良率の低減、樹脂・金属廃材の再利用化、資料のペーパーレス化など、3Rの徹底により、廃棄物の排出量を低減し、資源を有効活用する取り組みを行っています。



■ 廃棄物排出量と原単位の推移(東海理化)



リサイクル材の利用

資源を有効利用するために、リサイクル材の使用を積極的に推進しています。パワーウィンドウスイッチやイモビライザーECUには、樹脂成形廃材を粉碎処理したリサイクル材を使用しています。



パワーウィンドウスイッチ



イモビライザーECU

水使用量の低減

めっき処理工程では、排水の一部をイオン交換塔で処理した後、工程内で再利用しています。また、半導体の製造工程では、微細なゴミを除去するために使用する純水の製造過程で発生する濃縮水や、使用後の純水の一部を再利用し、水の使用量と排出量を低減しています。



イオン交換塔



純水製造装置

物流活動における梱包・包装資材の低減

物流に伴う環境負荷低減のために、梱包・包装資材の使用量低減に向けた取り組みを積極的に推進しています。2020年度は、ハンドル意匠面の耐キズ性能向上に伴い、従来使用していた仕切材やハンドルカバーを廃止し、年間3tの資材使用量を低減しました。



改善前



改善後